

委員会報告

総務文教

Q 現在スクールバスは何台あるか。生徒の通学送迎外の利用規定はあるのか。

A 大型二台、中型一台です。通学外の利用規定はありませんが、そのつど学校から文書により申請するようにしています。

Q 小、中学校の要保護、要保護児童援助費が年々増加しているが、原因は何か。国の補助はいくらか。



町のスクールバス

A 援助児童数の増加は不況によるものが多いと思われる。国の補助は二分の一です。

Q その申請の手続きに民生委員の意見は絶対必要か。

A 国の指導では民生委員の意見をつけるようになっていますが、最終的には教育委員会が決定します。

Q 災害対策は万全か。

A 大雨対策はほぼ万全と考え

るが、地震に対しては防災訓練等対策を進めます。

建設

Q 歳出で道路維持費の委託料百七十万円は。

A 本田技研南側準用河川大谷川除草伐採業務です。

Q 毎年行っているなら、当初予算で計画出来ないか。

A 当初予算で実業団女子駅伝と関連して予算化を検討して行きたい。

Q 道路新設改良費の原材料費

の四百三十万円は。

A 室塘町線景観整備事業分で、県が工事をする為の原材料分を負担するものです。

Q 都市計画総務費の百九十九万八千円の補助金は。

A ユニバーサルデザイン建築物の整備促進のための、多目的トイレなどの整備に関する助成で、事業費に対し、県と町が助



室塘町線の整備工事

成するものです。

Q 公共下水道費の繰出金八万四千円の増額は。

A 公共下水道特別会計の人員費によるものです。

経済



赤牛像のイメージ

Q 鳥獣害駆除補助金でカラス駆除は対象になっているのか。また、二月からの猟期外となるが補助の対象になるのか。

A カラスの分は基本額に算入されております。二月以降の猪駆除分は三月補正で考えたい。

Q 畜産事業費で、あか牛銅像建立補助金六〇万円の目的と根拠は。

A 熊本の牛肉としての赤牛を広くPRするため県畜産農協連合会を中心に建立をされるもので、農林水産省の照会で三社からの見積もりと建立の運びとなりました。

Q 工業用水道に関する日量三〇〇〇mから四〇〇〇mに上げる計画になっているが、現在の給水能力は、どの位あるのか。

また、今後の使用量は。

A 今後、五ヶ年間の需要量の見込アンケート調査では、今後三ヶ年間の予想として三社が増加する見込みです。したがって今回の補正では取水ラインの距離も短く、経費の面で有利と思われる。